指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和5年度分）

施設	名称	栃木市大平児童館
	所在地	栃木市大平町蔵井2007-1
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名称	学校法人 しずわでら学園
	所在地	栃木市岩舟町静和1151-4
	主な業務内容	認定こども園しずわでら幼稚園、認定こども園ふじおか幼稚園 子育て支援センターもりのカフェ の運営

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値
	利用者アンケート実施回数		1回	1回
	利用者アンケート数		100件	130件
	事業参加者アンケート実施回数		90回	117回
	事業参加者アンケート数		300件	344件
	意見反映数		2件	2件
	苦情発生件数		0件	0件

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25

指定管理者コメント	<p>①児童福祉法第35条第3項に基づき、児童を健全に育成することを目標として施設運営方針を定めました。また、事務室に掲示し職員が常に意識できるよう努めました。</p> <p>②施設の案内を玄関や各部屋に表示、またホームページやSNS等でも積極的に案内することで、誰もが利用しやすいようにしました。</p> <p>③利用者満足度向上のため、夏休み中の利用者アンケート調査を130件、また、各種イベントごとの参加者アンケート調査を344件実施しました。調査内容により2件の要望を導入しました。</p> <p>④意見箱を設置、また苦情申出窓口を設置し利用者の意見を把握するよう努めました。苦情処理の基本的なマニュアルを作成し、苦情があった場合スムーズに対応できるよう努めました。</p>
-----------	---

施設所管課コメント	<p>・児童福祉施設としての意義を十分に理解して運営方針を定めており、職員も高い意識を持って業務にあたっていることが伺えた。</p> <p>・施設案内をSNS等で積極的に発信するなど、誰もが利用しやすい環境整に努めていることもあり、市内で利用者数が多い状況を維持している点は評価できる。今後も利用者アンケートや意見箱、利用者の声を通じて得た意見を反映させ運営に当たっていただきたい。</p> <p>・日頃から利用者の意見を聴きながら運営ができているとともに、苦情処理の基本的なマニュアルが作成されており、緊張感を持って業務に当たっていることから、年度を通して苦情が発生しなかったものと思われる。</p>
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者数		13,500人		17,346人		
	じどうかんだより発行部数		18,000部		18,000部		
	SNS掲載件数		100件		374件		
	新規事業数		1事業		4事業		
	地域との協働事業数		3事業		5事業		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①年間の事業計画に基づいて事業を実施しました。ボランティアさん主体のイベントとなるアロマハンド&ヘッドマッサージが、ボランティアさんの都合で12回中6回中止となりました。また、ベビーマッサージは講師の方の体調不良により1回中止しましたが、代替え事業を実施し予約者の方に楽しんでいただきました。</p> <p>②毎月発行のじどうかんだよりに加え、ホームページ・広報誌・ケーブルテレビ・X（Twitter）・LINE・Instagramなどを積極的に活用し、幅広い周知を図りました。特にInstagramでの周知に力を入れ、SNS掲載数が計画値を大きく上回りました。</p> <p>③児童館条例で定められている開館時間を延長することで、施設の利便性を高め利用者の拡大を図りました。新規利用者の増加に向け母親向けに「産後のフェムケア矯正」や「おうちでできるトレーニング教室」を実施、またいちご農家さんの協力で地元特産物を楽しめる事業や、昨年度新規事業として開催した「出前児童館」を形を変えて開催しました。</p> <p>④秋の一大イベント「こどもフェスティバル」の他、親子教室のおまつりや「出前児童館」の出店時など、地域住民の方に協力をしていただき開催しました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が計画値を30%程上回り、前年度と比べても大幅な利用者増となった。これは新型コロナウイルス感染症に係る規制の緩和だけでなく、SNS等を活用した広報活動も効果を発揮していると考えられる。特にSNSへの掲載は目標値を大きく超えて実施されており、職員が注力していたことが伺える。 ・新規事業、地域との協働事業も目標値以上に実施され、利用者増加や地域住民の満足度向上に向けて取り組んでいたと思われる。 ・今後も地域住民等と協力しながら、児童の健全育成を図るとともに、地域に開かれた児童館運営に努めていただきたい。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	事業費削減額		22,345円	△20,215円			
	事業費削減率		1%	△0.9%			
	備品等更新数		7回	3回			
	見積合わせ実施数		5回	5回			
	施設修繕数		7回	3回			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅲ	0.6	9	Ⅲ	0.6	9
指定管理者コメント	<p>指定管理業務にかかる収支について専用口座を設け、出納責任者を2名配置し確認体制を強化することにより、正確な管理を行いました。</p> <p>②リサイクル品の使用によるイベント消耗品の削減、光熱水費の効率的な利用に努め、イベントや施設の充実を図りました。光熱費や燃料費等の高騰に加え、漏水による多額の水道代になったこと、備品の更新で、コピー機を中古品の購入をしたが、計画額を大きく上回る金額となったため、事業費の削減には一歩及びませんでした。ほぼ計画値通りとなりました。</p> <p>③業務委託に関して、経費削減やサービス向上等考慮し、委託業者との信頼関係も築くよう努めました。</p> <p>④安心・安全に考慮し、危険箇所の修繕や備品の交換等を行いました。また、エアコンの清掃を職員や業者にて定期的に行い、温度管理を徹底することで、省エネにも力を入れました。備品は、コピー機・Wi-Fiルーター、掃除機がそれぞれ経年劣化の故障のため購入、修繕は、滑り台の塗装、換気扇の取替え、事務室とトイレのLEDライトへの交換を行いました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・施設経費の節減及び施設の維持管理について、適切に実施されているものと理解する。</p> <p>・光熱水費の高騰の影響がある中でも備品等の使用及び修繕方法を工夫し、経費削減に努めている姿勢は評価できると考える。</p> <p>・物価高騰により財源に限られる中、最低限の修繕を行いつつ、滑り台の塗装など児童にとってより良い環境づくりにも注力したことは、児童館サービスや利用者満足度の向上が図られたと考える。</p>						

（４）施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	人員配置数		1日2名以上	1日2名以上			
	1週間の平均勤務時間数		40時間以内	40時間以内			
	職員研修会開催回数		1回	1回			
	研修会参加回数		3回	7回			
	経常収支比率		95%	110%			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①栃木市児童館条例並びに基本協定書に基づき、施設の運営に必要な職員配置を行いました。総括責任者として館長を1名配置、業務従事者すべての者が児童厚生員（保育士、幼稚園教諭等）の資格を有し、常に2名以上の人数配置をしました。</p> <p>②職員研修会を実施、また児童館連絡協議会主催の研修会にも進んで参加しました。</p> <p>③④健康保険料・厚生年金保険は私立学校共済保険に加入、また各種税金も適切に納めました。</p> <p>⑤別紙にて</p>						
施設所管課コメント	<p>・内外の研修に積極的に参加し個々人の能力の向上を図るなど児童館運営への熱意を感じる。</p> <p>・業務従事者すべての者が有資格者となっていることは、他の児童館と比較しても非常に充実した人員配置がなされており高く評価できる。</p> <p>・新規利用者を増やす取り組みを行っているなかで、更に利用者が増加した場合にも適正な管理運営が継続できるよう、引き続き職員の育成指導等に努めていただきたい。</p>						

（5）施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	安全定期点検実施回数			12回	12回	
	事故発生件数			0件	0件	
	消防訓練実施回数			12回	12回	
	消防訓練参加人数			60人	73人	
	水害による訓練実施回数			2回	2回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<p>①日々の安全点検に加え、月に1度定期点検を実施、また年に1度専門業者に外の遊具の安全点検を依頼し、修繕を適宜実施しました。また、消防設備などの法定点検も実施しました。</p> <p>②安全管理マニュアルを各場面ごとに作成し、事務所に保管するとともに、職員に配布し、話し合いの時間を設け、常に的確な対応ができるよう努めました。</p> <p>③消防の総合訓練の他、消火器等の点検を毎月実施、水害に対する訓練も年に2回実施し、職員や利用者の防災意識を高めるものとなりました。</p> <p>④個人情報保護マニュアルに基づき、適切に管理しました。</p>					
施設所管課コメント	<p>・施設の安全対策、危機管理については概ね適切に行われているものと理解します。前年度に比べ大幅な利用者増となった中でも事故がなかったことは、日頃から安全対策を適切に行っていた結果と評価できる。</p> <p>・水害に備えた訓練を行うなど、地域の実情に沿った防災意識を持ちながら運営ができていると思われる。今後も、突然の災害に対応できるように訓練等を通じ、万全の体制を整えていきたい。</p>					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	25	25	
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	20	20	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	9	9	
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	16	
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	12	12	
評価点合計	100	82	82	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期
資産総額	1,295,938,794	1,300,404,768	1,333,192,277
売上高	497,703,428	492,064,888	540,228,943
経常利益	△ 14,336,049	26,624,413	51,781,401
当期利益	△ 14,884,809	26,624,413	51,781,401
経常収支比率	97.2%	105.7%	110.6%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期
経常費用	512,112,607	465,524,637	488,543,240
経常収益	497,776,558	492,149,050	540,324,641
経常収支比率	97.20%	105.71%	110.60%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

- ・決算は令和4年度までのものになります。
- ・経常収益を伸ばすことができ、経常収支比率は2年続けて改善しました。伸び率を維持できるように、引き続きコスト削減と収入源確保に取り組んでいきます。